

KOUNAN SMILE vol.32

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

2019.5

新元号 令和

定年退職祝い★高橋安美さん
4月20日 in レストラン宇宙

26年間お疲れさまでした
ありがとうございました！



新しい仲間が増えますよ～♪
5月13日入社
相川 真理子さん
5月14日入社
坂川 昌治さん

HAPPY BIRTHDAY

高橋忠広 5月4日 57歳	鎌倉侑也 5月24日 25歳
相川真理子 5月10日 36歳	川上直哉 5月27日 30歳

4月11日 会社見学～関西紙工(株)さん
神野さん、三鍋さん、大西(健)さん。自分たちが作った製品がどう使われているかを目にし、責任感やモチベーションがより上がったかと思えます。また時間を割いてくださった関西さんの厚意にも応えるべく今後の課題にもしっかり取り組んで、改善につなげていかなければいけませんね！

毎月1人をランダムにピックアップ！
仲間のことをもっと知ろう！というコーナー



今月の主役！

今月の主役は高橋忠広さんです。皆さんの知らないアレコレ、調査してきました！自称「ちゃらんぼらん」な性格の高橋さんの趣味はスポーツ観戦や釣りです！仕事の後によく愛媛FC戦を観戦しに行っていたそうです。ただ今は体力気力共に低下しなかなか行っていないそう…。高橋さんはサッカーも好きですが実は大の阪神タイガースファン！特に鳥谷が好きだそうです！わかります！カッコいいですよね！奥さんも鳥谷が好きで鳥谷Tシャツを着て応援しているそうですよ！夫婦で共通の趣味があって素敵です！

そんなスポーツ大好き高橋さんですが休日の過ごし方は意外と(?)落ち着いていて、金魚やメダカのお世話をしたり家庭菜園をしたりして過ごしています。これからの時期はトマトやなすび、キュウリなどを育てるそうです。好きなものは麺類で、特にうどんが大好き！いろんなお店に行きたいとのこと。みなさんおすすめのお店があったら高橋まで！

◆あなたの10年前
10年前は子供のサッカー観戦に行くのが楽しみでした。とのこと。

◆脳内パーセンテージ

仕事でも野球のことばかり考えているのでは...？笑



◆前回の主役(高石さん)からの質問

Q、家庭円満の秘訣はなんですか？
A、たまに美味しいものを奢る。

以上、高橋さんの調査結果でした！
次は誰が選ばれるか...お楽しみ！

「カツ社社長がゆく」の巻

4月29日 就活地方祭 合同企業説明会 in 松山

GW真っ只中、松山に行ってくれた神野さんと新田さん。まさに「頼まれごととは試されごと」の精神！感謝！少数精鋭の出会い(笑)素晴らしい人材との出会いに期待大ですね！



4月20日 小林先生による1回目の『社風をよくする研修』が始まりました。

前日には第2工場のメンバーと懇親会も♪【言行一致】で日々落とし込んでいきましょう。



平成と共に生涯をとじた代表。連休にも関わらず多くの社員に見送ってもらい代表も喜んでいただけました。ありがとうございます。大切なものを生き様で遣してくれた代表。これからは私たちの心の中で永遠に生き続けていきます。

私の父親であり江南ラミネート株式会社の創業者である石川正三は、平成三十一年四月二十七日、七十一歳にて生涯を閉じました。連休のお忙しい中、また予定のある中、病院から葬儀に至るまで社員の皆さんにはいろいろとお手伝いいただきまして大変助かりました。家族同然に大切にしていた社員の方々に送られてきつと父も喜んでのことと思います。本当にありがとうございました。父は現在2階にあるNSスリッターTC100型機で紙加工を始めました。江南紙工株式会社、有限会社カワショー、そして江南ラミネート株式会社というように事業を拡大してきましたが、当初は飛び込みで営業に行っていたという苦勞の連続だったようです。しかし「仕事は決して断らない」という信念を持ち誠実に加工を行っていったうちに良いご縁が生まれ次の仕事につながっていったようです。まさに「頼まれごととは試されごと」で、常に相手の期待を上回る結果を出してきたのだと思います。お世話になった取引先の皆様への感謝の想いは深く、その恩義に報いようとして一層仕事に邁進し、己のことを二の次に身を粉にして働いてきたせいか、持病の糖尿病から目や歯も悪くしたり心筋梗塞を起こしてしまい心臓にペースメーカーをつけるようになってしまいました。そんな素振りも少しも見せず社員のため、会社の

父は少々口は悪かったですが、それとは裏腹に繊細な気配りで、困っている人がいたら助ける優しい心の人、頼まれると引き受けてしまう器の大きい人でした。今まで父親が積んだ徳が多くのご縁に繋がりが、ひいては会社の『今』に繋がっています。父親の志を受け継ぎ、父親が家族以上に大切にしてきた社員の方々と共に、より一層利他の心があふれる社風にして『紙産業の魅力』を発信し、故郷を誇れる人を増やし、地域の発展に貢献できる企業になり、次の世代へ志を引き継いでいきたいと思います。それこそが父親への恩返しだと思っています。私一人の力では成し得ないことです。皆さんの力が必要です。共に歩んでいただけることを心から願っています。(プレゼントした『運転者』を読んでもらえたらこの内容がスッと心に入ってくると思いますよ) 克晴